

院内がん登録データの利活用について

院内がん登録とは

がんと診断された患者さんの基礎的なデータをがん診療連携拠点病院を中心に共通のルールに従って登録し、がん診療の実態を明らかにするしくみです。

当院では「がん登録等の推進に関する法律」に基づき実施し、国立がん研究センターに個人識別情報を削除した上で提出しています。

全国の病院から集められたデータは報告書として下記ホームページで公表されています。

院内がん登録とは ◆国立がん研究センター ホームページ「がん情報サービス」◆
<https://ganjoho.jp/public/institution/registry/hospital.html>



院内がん登録データの利活用(二次利用)について

国立がん研究センターに提出された院内がん登録データは、国全体で「より良いがん医療、がん対策」に役立てることを目的とし、報告書の他に以下のような目的に使用されています。

- ① データのより詳細な集計や研究解析を行ってがんの実態を検討する
- ② 全国規模で対象を選び病院からアンケートをお送りし意見をうかがう など

データの二次利用を拒否できる機会(オプトアウト)について

上記のような二次利用は定められた審査を経て行われていますが、もしご自身のがん登録情報が二次利用に使われたくない場合は拒否することができます。その場合は下記当院窓口へお申し出ください。

データの管理や制度の詳細は「国立がん研究センターがん情報サービス」のホームページをご覧ください。

また、必要に応じて下記お問い合わせフォームもご活用ください。

なお、個別の研究については各研究者の所属機関における倫理審査委員会の指示に従い、情報公開等を行います。

※【オプトアウト】とは… データ二次利用(研究・調査等)の対象者等が拒否できる機会を保障することによって、個別の同意を得る事を省略できる方法。

- ・当院窓口: 大腸肛門病センター高野病院 医療情報センター
- ・国立がん研究センター窓口: がん情報サービス お問い合わせフォーム
<https://contact.ganjoho.jp/form/pub/ganjoho/contact>

